

## 中小企業景況調査(2015年10月) 要約版

[概況] 中小企業の売上げDIは、4カ月連続でマイナス  
売上げ見通しDIは、17カ月連続でプラス

### 1 売上げ

2015年10月の売上げDIは、前月(▲0.6)から0.1ポイント低下し、▲0.7となった。マイナスは4カ月連続である。

今後3カ月(10月~12月)の売上げ見通しDIは、前月(2.2)から1.9ポイント上昇し、4.1となった。プラスは17カ月連続である。

### 2 利益

利益額DIは、前月(3.0)から1.0ポイント上昇し、4.0となった。

### 3 価格、雇用、生産設備

販売価格DIは、前月(▲3.2)から0.2ポイント低下し、▲3.4となった。仕入価格DIは、前月(1.8)から1.6ポイント上昇し、3.4となった。

従業員判断DIは、前月(8.0)から4.6ポイント低下し、3.4となった。

生産設備判断DIは、▲6.9と、前月(▲6.9)から横ばいとなった。

※調査の全文につきましては、[こちら](#)をご覧ください。

＜調査の要領＞	調査時点	2015年10月中旬
	調査対象	三大都市圏の当公庫取引先900社(首都圏454社、中京圏142社、近畿圏304社)
	有効回答企業数	594社
	回答率	66.0%

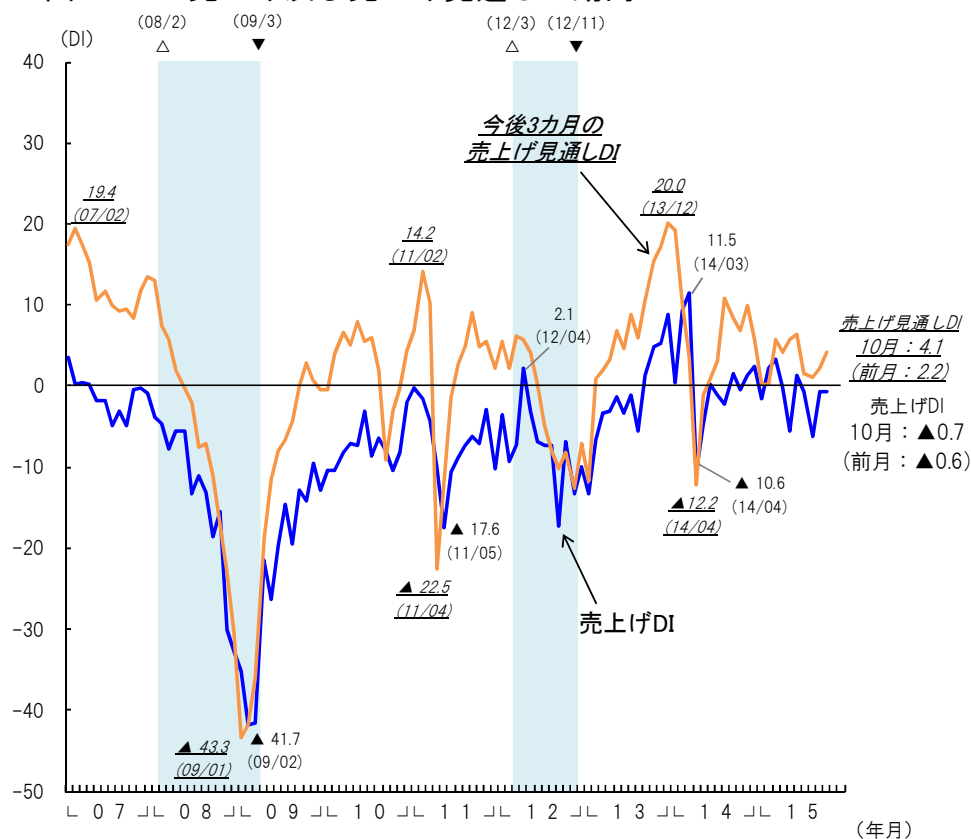
#### ＜お問い合わせ先＞

日本政策金融公庫 総合研究所 中小企業研究第一グループ Tel:03-3270-1704(担当:江連、神谷)  
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティノースタワー

本資料は日本銀行内金融記者クラブ、経済研究会(内閣府)に同時配布しております。

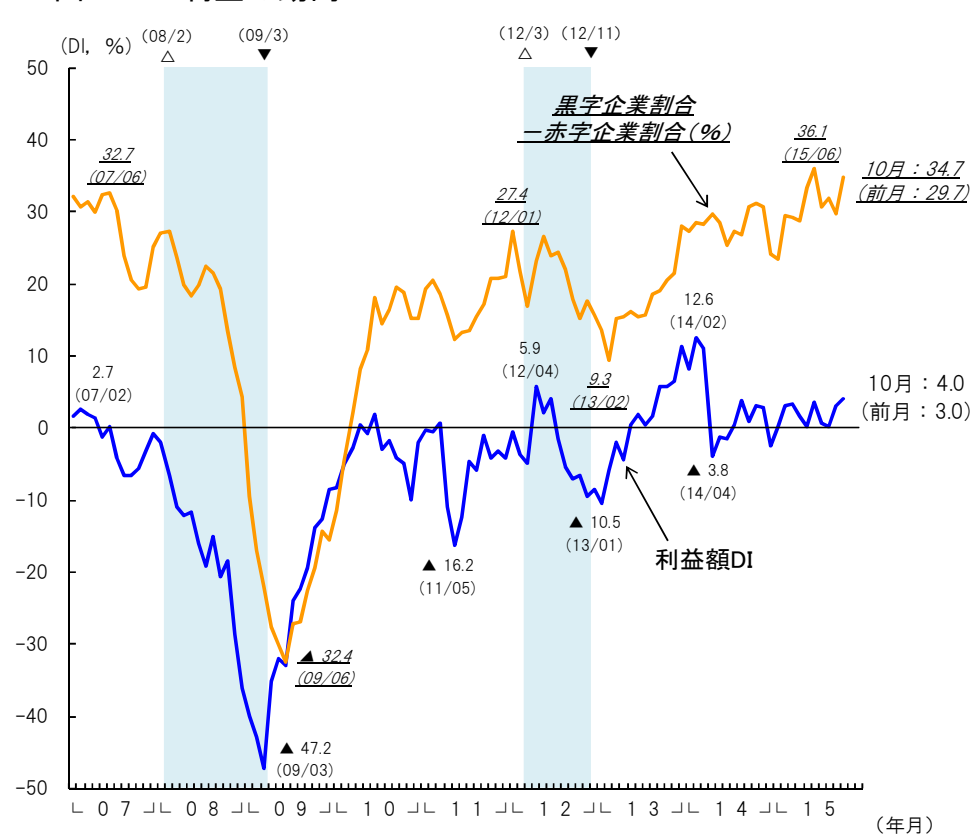
- 売上げDI(「増加」-「減少」)は、▲0.7と、前月(▲0.6)から0.1ポイント低下した。
- 売上げ見通しDI(「増加」-「減少」)は、4.1と、前月(2.2)から1.9ポイント上昇した。
- 利益額DI(「増加」-「減少」)は、4.0と、前月(3.0)から1.0ポイント上昇した。
- 黒字企業割合-赤字企業割合は、34.7と、前月(29.7)から5.0ポイント上昇した。

図-1 売上げ及び売上げ見通しの動向



- (注) 1 売上げDIは前月比で「増加」-「減少」企業割合(季節調整値)。  
 2 今後3カ月の売上げ見通しDIは過去3カ月の実績比で「増加」-「減少」企業割合(季節調整値)。  
 3 △は景気の山、▼は景気の谷、シャドウ部分は景気後退期を示す(以下同じ)。

図-2 利益の動向



- (注) 1 利益額DIは前月比で「増加」-「減少」企業割合(季節調整値)。  
 2 黒字および赤字の判断については最近3カ月の実績による(季節調整値)。

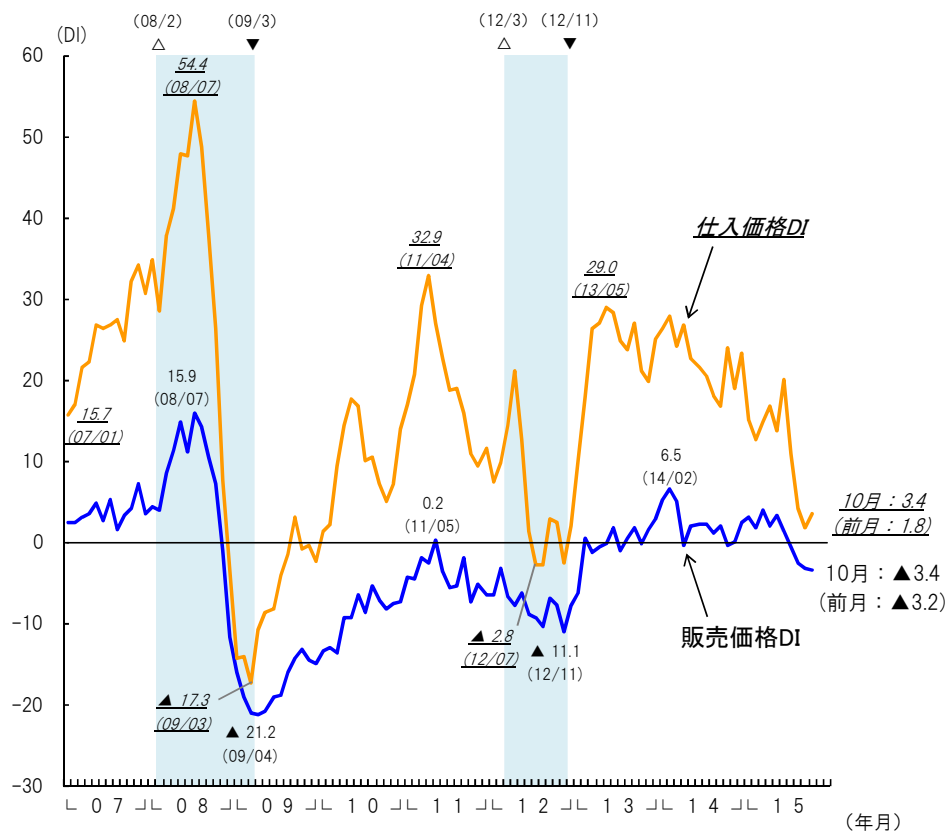
○販売価格DI(「上昇」-「低下」)は、▲3.4と、前月(▲3.2)から0.2ポイント低下した。

○仕入価格DI(「上昇」-「低下」)は、3.4と、前月(1.8)から1.6ポイント上昇した。

○従業員判断DI(「不足」-「過剰」)は、3.4と、前月(8.0)から4.6ポイント低下した。

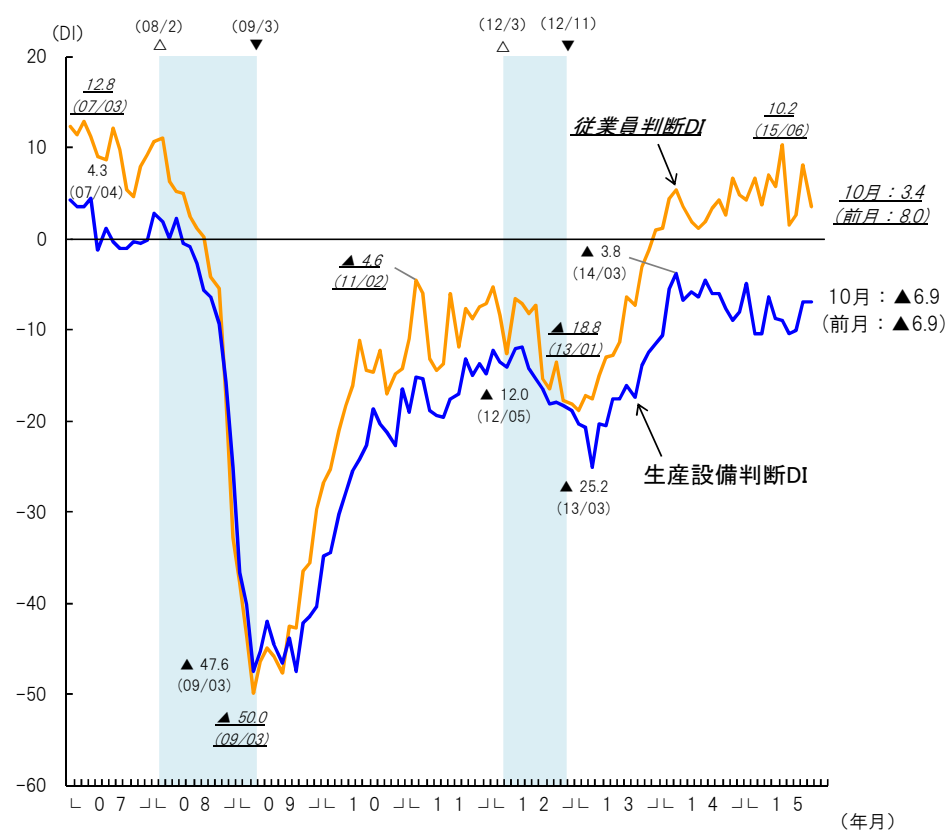
○生産設備判断DI(「不足」-「過剰」)は、▲6.9と、前月(▲6.9)から横ばいとなった。

図-3 販売価格、仕入価格の推移



(注) 1 販売価格DIは前月比で「上昇」-「低下」企業割合。  
2 仕入価格DIは前月比で「上昇」-「低下」企業割合。

図-4 従業員状況、生産設備の判断

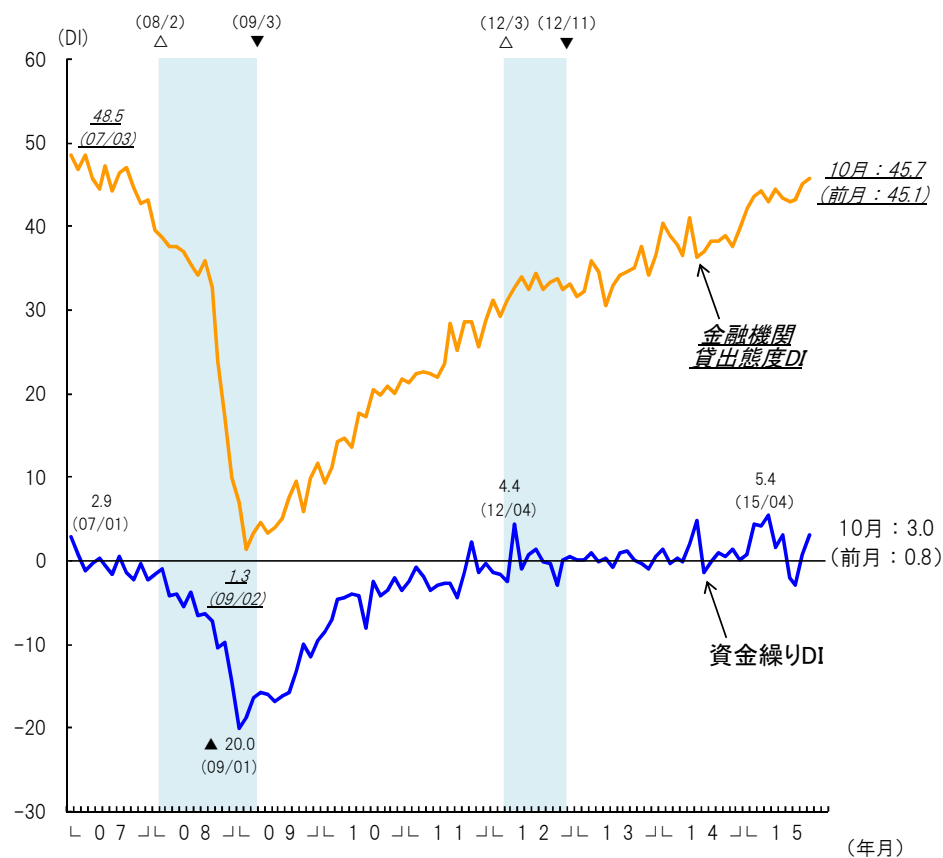


(注) 1 製造業の数値。  
2 従業員判断DIは「不足」-「過剰」企業割合(季節調整値)。  
3 生産設備判断DIは「不足」-「過剰」企業割合(季節調整値)。

○資金繰りDI(「余裕」-「窮屈」)は、3.0と、前月(0.8)から2.2ポイント上昇した。

○金融機関貸出態度DI(「緩和」-「厳しい」)は、45.7と、前月(45.1)から0.6ポイント上昇した。

図-5 資金繰り状況と金融機関貸出態度



(注) 1 資金繰りDIは「余裕」-「窮屈」企業割合(季節調整値)。  
2 金融機関貸出態度DIは「緩和」-「厳しい」企業割合。